

授業科目名 ( 英文名 )	Listening and Speaking 1 英語 L S 1 ( S 4 )	科目区分 対象学生	
単位数	1.00	開講年次・ 学期	1 年次・前期
担当教員	水野 知津子	所属	非常勤講師
オフィス・場所		連絡先	
講義目的及び到達目標	1) 日常生活における英会話を理解し発話することができる 2) 日常的な内容の英語の音声を聞いて理解することができる 3) 上記の英語の音声の内容について感想や意見を発話することができる		
講義内容・授業計画	<p>会話、ニュース、アナウンスなど英語の様々な音声を聞き内容を理解することができるようにする。英語で自分の意見が言えるようにする。授業への積極的な参加が求められる。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. ガイダンス 授業の進め方、英語力チェックを行う。</li> <li>2. 映画を視聴し、ストーリーの流れをつかみながら、聞き取る。</li> <li>3. Unit 1; She Gets a Royal Welcome</li> <li>4. Unit 2: Where Do You live?</li> <li>5. Unit 3: Is This the Elevator?</li> <li>6. Unit 4: Is This the Princess?</li> <li>7. Unit 5: So I ' ve Spent the Night Here with You?</li> <li>8. Unit 6: It ' s Just What I Wanted</li> <li>9. Unit 7: Today ' s Gonna Be a Holiday</li> <li>10. Unit 8: “ The Mouth of Truth ”</li> <li>11. Unit 9: Hit Him Again, Smitty!</li> <li>12. Unit 10: I Don ' t Know How to Say Goodbye</li> <li>13. Unit 11: Is That a Shot, Joe?</li> <li>14. Unit 12: By All Means, Rome</li> <li>15. とめと評価 英語力チェック 定期試験</li> </ol>		
テキスト	濱田真由美/穂本浩美著 : Roman Holiday: Shining and Natural English 映画『ローマの休日』で学ぶ日常で使える英語表現 マクミラン ランゲージハウス		
参考文献			
成績評価の基準・方法	日常生活における英会話を理解し、自分の考えを発話することのできるものに単位を授与する。 講義目的・到達目標に記載する能力の到達度に応じて、S から C まで成績を与える。 レポート・小テストなどによる平常点40%、試験60%を基準として、受講態度を含めて総合的に評価する。		
履修上の注意・履修要件	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 短時間でもできるだけ毎日、映画DVDで予習や復習をすること。</li> <li>2. まちがいを気にせず、毎回積極的に参加して欲しい。</li> <li>3. 授業欠席の際に提出するものは、「診断書」のコピー、病院の領収書でも良い。  &lt; 新型コロナウイルス感染症に伴う特例措置に基づく遠隔授業 &gt;  当授業は、原則全ての授業を対面で実施する予定ですが、履修者人数によっては、新型コロナウイルス感染症対策として、履修者を複数の教室に分けて教室間をオンラインで繋ぐ方法や、対面授業と自宅でのオンライン授業を隔週実施する方法とすることがあり、自宅等でオンライン授業の受講を視聴できる通信環境(PC・タブレット等の端末やWi-Fi環境)が必要となる場合があります。最終的な授業方法は履修登録後に決定・連絡します。</li> </ol>		
実践的教育	該当しない		
備考	英語を聞き取り、使える表現を実際に使いながら日常生活における英会話を理解し発話できるように進めていく。		

英語は実技科目である。映画の内容はもちろん、ペア活動などで実際に英語を積極的に使い、コミュニケーションの重要性や楽しさを実感しながら英語力向上をめざす。